



森のなかま

2019年3月号

NO.131 (継続276号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 久保 重明
〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 TEL046-297-0301・Fax046-297-0302



平成31年(2019年)1月13日(日)

『山の神祭』開かれる

参加 59 名



御神体(板)の写真

<企画・準備・進行:森林文化部>
(取材 広報部)

- 山の神祭式次第
- 一、開会の辞
 - 二、一同拝礼
 - 三、修祓の儀(お払いの儀)
 - 四、献饌の儀
 - 五、祝詞奏上
 - 六、玉串奉奠
 - 七、一同拝礼
 - 八、直会の儀(神酒拝戴)
 - 九、閉会の辞

参考:祭事の呼び方
 修祓(しゅうふつ)の儀
 (慣用読みでは しゅうぼつ)
 献饌(けんせん)の儀
 祝詞奏上(のりとそうじょう)
 玉串奉奠(たまぐしほうてん)
 直会(なおらい)の儀

- ◇ 昨年末の12月19日に事務局・森林文化部会の有志の皆さんで大掃除を行いました。祠(ほこら)の内部や外側を雑巾掛けや箒掃き、「山神権現社」の銘がある御神体(板)を清めました。そして注連縄(しめなわ)作り、張りを行いました。
- ◇ 山の神祭の当日は事務局・森林文化部会の皆さんには朝早くから集合し、祭事準備をして頂きました。御供え物の設置、直会で使う盃の整理、鯛や目刺しを焼く炭火の準備などです。準備が終わった頃に、参列する会員の皆さんは臨時バスで寄大橋に到着し山の神祭の場所に移動しました。
- ◇ 司会進行を 真貝 勝 氏11期、神主は高橋 修 氏9期で 式次第に沿って、執り行い、本年(最後の平成 年そして新年号)の活動と安全を皆で山の神様に祈願を致しました。
- ◇ 祭事時の直会は神聖な礼講(れいこう)として執り行いましたが、祭事終了後の直会は無礼講(ぶれいこう)です。奉納された神酒や、縁起ものの鯛(するめ)や目刺しを頂き、会員間の親交を深めました。お酒も程よくまわった頃に、午後からの会員の集いの松田町「わたや」に向かったのです。



昨年末の準備
注連縄張り、清掃



当日の祠準備完



山の神祠詣でに
階段を、鳥居を...



修祓の儀



一同拝礼



玉串奉奠①④⑤期



玉串奉奠⑦⑧⑨期



玉串奉奠⑩⑪⑫期



玉串奉奠⑬⑭⑮期



無礼講の直会:休憩棟前

48名参加の 会員の集い 兼 新年会 盛況に開催される 1月13日(日)

< 事務局長 福島 正治 11期 >

雪の情報もある中、無事に平成最後の山の神祭が平成31年1月13日(日)行われました。かながわ森林インストラクターの会恒例会員の集い(新年会)は48名の参加を頂き棉屋で盛大に行われ、直会の儀のお神酒で下地ができた会員が久保理事長の挨拶、乾杯後1期から15期まで各期の参加者全員の紹介があり、余興として15期生石井裕氏の尺八演奏で時間があっという間に過ぎ神主を務めた9期高橋修氏の締めで無事終了となりました。改めてご参加頂いた方々、準備をして頂きました森林文化部会の皆様のご協力に感謝し、ご報告とさせていただきます。

司会加藤さん①の進行でスタート



久保理事長⑧の御挨拶



宴会 始まりと中盤



各期からのエピソード等
写真は 1期、5期、9期 (他期の皆さんもやっています)



石井(裕)氏 15期の
不思議な尺八演奏



新年開運の**破魔矢・絵馬**を頂戴致しました

1月22日(火)鶴岡八幡宮 教化部長、権禰宜(ごんねぎ)の角井司様が厚木事務所に来所されました。鶴岡八幡宮様より新年開運の破魔矢と絵馬をお持ちいただきましたので、皆様にご報告させていただきます。会員の皆様のご1年間無事をお祈りし事務所に飾らせて頂きます。どうも有難うございました。尚昨年の破魔矢は八幡宮古神札の奉納所に納めさせていただきました。

<事務局 福島 正治 11期>



自然観察部会 『冬の探鳥会』 が開催されました。 観察場所:相模原公園および沈殿池
 日時:平成31年1月12日(土)9:30~14:00 曇り 参加者:24名
 講師:秋山 幸也氏 (神奈川県立相模原市博物館学芸員)

< 鶴井 正人 15期 > (写真:松石藤夫 13期、松本保 11期)

1月12日(土)相模原公園及び沈殿池にて探鳥会が行われました。極寒の曇天の下24名が集まりました。講師は相模原博物館の秋山先生。「寒いですが曇っている方が逆光の影響が少なく鳥を見やすいのでコンディションは決して悪くありません。今日は寒さに負けないでがんばりましょう。」慰め?励まし?のお言葉を頂戴して探鳥会は始まりました。

まずは雑木林の中へ。鳥たちはなかなか姿を現わさず耳をすませて鳴き声での探鳥となりました。メジロ、ウグイス、コゲラ、アカゲラなどの声を確認。林を抜けると雪が舞い始め、双眼鏡を持つ手もかじかみました。

沈殿池に到着すると雪は止み、オシドリ、コガモ、カイツブリ、カワウ、アオサギなど多くの水鳥が一気に目に入ってきました。曇天のせいかオシドリの色が際立って見え、秋山先生からイチョウ羽の解説などを受けました。晴れた日にはハヤブサも飛来すること。

昼食後は花しょうぶ園付近にて、地際から高木上までじっくり観察。ツグミ、シメ、カワラヒワ、モズ、シジュウカラ、アトリなどを確認できました。幹を突つつくコゲラを至近距離で見られたのには感動。最後に鳥合わせ(34種)を行い、連想ゲーム(見た鳥の特徴を一言で表現して、他の人がその種名を当てる。例:まだら→ツグミ、いちょう→オシドリ 目的:今日の復習と今後への動機づけ)での楽しい締めくくりとなりました。

講師 :相模原博物館 学芸員 秋山 幸也 様
 神奈川県出身 小学校低学年のころ、鳥の図鑑を見ながら落書き帳に絵を描くのが好きだったそうです。シジュウカラに興味を持って観察始めたそうです。神奈川県植物誌調査会の一員として県下の植物調査を担当。丹沢大山自然再生委員会の学識経験者委員。



この日最初に観察したカルガモ ペアー

参加者24名

菊地①、小野⑦、鈴木⑧、内野⑨、小沢⑨、村井⑨、小笠原⑩、松山⑩、湯浅⑪、佐藤義⑪、松本⑪、赤崎⑫、宇田川⑬、松石⑬、岩田⑭、羽鳥⑭、相澤⑮、河西⑮、川瀬⑮、竹内⑮、鶴井⑮、飛田⑮、埴原⑮、吉川⑮、

◎鳥合わせ 34種

オシドリ オカヨシガモ カルガモ オナガガモ コガモ カイツブリ カンムリカイツブリ キジバト カワウ アオサギ トビ コゲラ アカゲラ モズ ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ シロハラ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ アトリ カワラヒワ シメ アオジ クロジ コジュケイ ガビチョウ



オシドリ



オシドリ アップ



コガモ



カンムリカイツブリ



カワウ



アオサギ 寒そう



菖蒲園付近の皆さんの観察風景



ツグミ



シメ 群とアップ



アトリ 群とアップ



コゲラ

『神奈川県森林インストラクター 誕生の頃』

チーフインストラクター (インストラクター No. 1-1) (農学博士)

< 飯村 武 >

神奈川県を退職し県林業協会の専務をしていました。そんな私が平成2年(1990)6月1日、神奈川県森林インストラクターに認定され、併せて「森林チーフインストラクター」の指名を受け、後継森林インストラクター(ボランティア)の養成にも携わる事となったのです。

一方、県は「大きな木、豊かな水の森づくり」を旗印とする森林財団を発足させました。県民活動と森林インストラクター活動との連動による親林活動がらねり始めたのです。

段取りに従い県立21世紀の森で6月中旬からインストラクター養成講座が始まりました。一年後認定を手にした方は25名。女性が約3割、地味な林業界にときめきの瞬間でした。

講座の充実を期するため講座検討委員会がもたれ、また、インストラクター制度検討委員会が設置されました。前者の関係で「**神奈川県森林インストラクター制度は国のそのモデル**」

との言い伝えがあります。元林野庁長官の秋山 智英 先生が委員でしたから尤もで宝物にしたい話です。

後者ではかながわ森林インストラクターの会の宮田 薫 初代会長も委員のひとりとなり、森林インストラクターは社会的に盤石の構えに成長し始めたのです。

県民が一堂に会しての親林活動も思い起こされます。平成3年2月23日には秦野市に1,000名が集まり森林フェスティバル'91、テーマは「音楽が奏でる心の森林浴」、県下一円に響き渡る上条恒彦さんの歌声で「大きな木 豊かな水の森づくり」を確かめ合っただけでした。

かくして時は何時しか30年が経ってしまいました。今年の干支にちなみ次に一句。

『猪突いま 収めて 卒寿 おらが春』

たけし

齢(よわい)に従い退会することにしました。会及び皆さんのますますのご発展を祈念します。

指導時の写真



枝条裁断機操作の実演



森林(やま)の手入れの話を終えて

『神奈川県森林インストラクター誕生から係わってこられたインストラクター番号1-1の飯村様が会を退会なされます。退会にあたり誕生の頃の様子を記して頂きました。語っても語りつくせないくらい沢山の事がお有りでしょうが紙面の都合で限られてしまいます。ほんとに長い間ありがとうございました。(広報部 松本)
(何回か寄稿して頂きましたが 本誌2013年平成25年3月号2頁「オオカミ再導入活動の近況」が印象的でした)

活動短信

今回の掲載は10/27～10/27です。
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。



フリーイラスト
より



新嘗祭の頃

山茶始開 11/7～11/11頃
つばきはじめてひらく
山茶花が咲き始める
第五十五候 立冬 初候

虹蔵不見 11/22～11/26頃
にじかくれてみえず
虹を見かけなくなる
第五十八候 小雪 初候

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明
ページレイアウトは気にせずベタ書きで結構です。
(できればWord、メール直筆でもOK。Excelはできるだけ
避けてください。改行等の処理に手間を要しますので
写真もあれば1枚添付ください。)

◆ 活動団体・活動名 等

- 日** 日付(できれば時間と天気も)
- 場** 場所 (例: 相模原市緑区 長竹承継分収林)
- 参** 参加者 人数
- 県** 神奈川県 環境農政局 緑政部
水源環境保全課 水源の森林推進グループ
- 財(公財)かながわトラスティみどり財団、**看** 看護師**
- スタッフ** 例 小田原市森林組合XX様
例 川崎市公園緑地協会・XX様
- イ** インストラクター (○数字:期) **研**:研修枠
以下の本文を概ね400字前後を目安として執筆ください
リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェック
をお願いします。(執筆者もお忘れなく!!)



昼食後は秋空のもと、ロケットラワンや竹トンボなどで遊び、また、募金活動にもご協力をいただきました。

午後は、紅葉の中での森林浴や森林癒やし体験。休憩棟横では座観。やどりき沢の水の音を聞きながら、紅葉のきれいな山々を楽しみ、きれいな空気を体いっぱい取り込む呼吸法を体験。延寿の森では森林浴体験。フィトンチッドの説明や、ヒノキ、クロモジ、サンショウの香りを嗅いでいただき、また、ヒノキの林で寝そべり、風の音や鳥の鳴き声を聞きながら、樹冠の揺らぎを感じていただいた。集会棟横の林では、ハンモックでゆったりとした時間を過ごしていただいた。お客様からは、気分がよくなった、心地よい、ゆったり出来た、初めての体験でよかったなどの声をいただきました。紅葉の中でゆったりとしたひと時を皆さんで過ごすことができました。

事故もなく安全に活動ができ、林内をきれいに整備できたこと、また、募金活動にもご協力をいただき、インストラクター一同感謝の気持ちでいっぱいであります。

(記 宮下 修一 ⑩)

◆ タカナシ乳業株式会社 かながわ水源林整備活動

タカナシ森の整備と紅葉のやどりき水源林を楽しむ

- 日** H30年11月10日(土)9:30～15:00、曇りのち晴れ
- 場** やどりき水源林
- 参** 15名
- 看** 小林様
- イ** L 宮下⑩、時田⑩、湯浅⑪、吉田⑪

前日は雨で、野外での活動を心配したのですが、当日は天気も回復。紅葉がきれいなやどりき水源林での絶好の活動日となった。

オリエンテーションでの挨拶後、活動内容の説明とストレッチ体操。午前の活動は、台風で倒れた樹木の処理と枝や落葉の整理などの森林整備。ヘルメットと枝打ち鋸を各自装着し、タカナシの癒やしの森である溪畔林に向かう。大木も倒れ、林内はかなり荒れた状態で全員唖然となった。3班編成で倒木処理、枝や落ち葉の整理を行った。

◆ 県民参加の森づくり 枝打ち

- 日** H30年11月10日(土)8:00～15:00、晴れ
- 場** 秦野市堀山下(全国植樹祭地)
- 参** 55名
- 市** 森林づくり課 黒田様
- 財** 大木様、内田様、古館様 **看** 青木様
- イ** L 牧石⑭、相馬⑤、大橋⑪、澤村⑫、渡辺(朋)⑫、宇田川⑬、前田⑬、岩田⑭、西村⑮ **研** 鶴井⑮

昨夜まで降った雨もあがり、立冬を過ぎたとは思えない、晴れた暖かい作業日和のなかバスで丹沢ビジターセンターのある県立秦野戸川公園に移動。公園内でオリエンテーションと準備運動の後、徒歩10分の作業現場に移動。枝打ち鋸等の道具を受け取り、班ごとの割り当てエリアで作業を開始した。

今回の作業はH22年に全国植樹祭で植樹した広葉樹(クヌギ、コナラ、ヤマザクラ、ヤマボウシ等)の枝打ちであ

った。作業地は平坦で、枝は細く柔らかいものが多かったこともあり作業は順調に進み、作業エリア内約1500本の枝打ちを予定時間前に完了。参加者の方からは「針葉樹と違い作業は楽だが物足りない」と声もあった。

午前中で作業を終え戸川公園に戻り、小春日和の中で昼食。



午後は園内のパークセンターで開催されたボランティア発表会(秦野市で活動されている「NPO法人自然塾丹沢ドン会」「戸川森づくりの仲間」の活動報告)に参加した。昼食直後、また作業後の程良い疲れのせい、軽い睡魔に襲われそうになりながらも、2団体の熱い活動報告を拝聴しました。

雨後&20度以上の暖かさということで、我々以上にヤマビルが大活躍でした。

(記 西村 光弘 ⑮)

◆ 厚木市立相川小学校

土の中の生き物ウォッチング

日 H30年11月12日(月)9:00~13:00、曇り

場 厚木市岡田 相川小学校 校庭及び理科室

参 小学6年生30名、教師2名

イ L 足立④、井出①、堀江④、松本⑧

昨年へ続き、今年も落ち葉プールなど校庭4ヶ所で土を採集し、理科室で生物を取り出し、観察した。

落ち葉プールでは、児童たちが観察用の土の採集のほかに、すっかり腐葉土化している多くの土をかき出してビニールシートの上に移した。

聞けば、ビニール袋に小分けして近く開催されるイベントで販売するのだということで、そこまで活用されているのはプールの作成に協力した我々としては、とても嬉しかった。

落ち葉プールのほかに、プランターの下と防災倉庫の裏と植物廃棄場の3か所でも採集して理科室に持ち帰り、篩にかけて生き物を取り出し、それぞれどんな生き物がいるかを調べた。結果は以下の通りで、昨年よりも高い自然度の点数がでた。

1班(落ち葉プール)44点、2班(落ち葉プール)46点、3班(プランターの下)58点、4班(防災倉庫裏)64点、5班(植物廃棄場)34点、6班(植物廃棄場のプランターの下)61点

(記 足立 功 ④)

◆ 伊勢原市立高部屋小学校

環境・エネルギー学校派遣事業～かながわ環境教室～

「森が『緑のダム』になることがわかる実験」

日 H30年11月16日(金)、晴れ

場 伊勢原市西高岡 高部屋小学校

参 特別支援学級3~6年生9名、教員・サポーター5名

イ 井出①、高橋③、足立④、堀江④、石垣⑮

今回、特別支援学級での授業は初めてということで、学年・学習度合いも異なる子供たちに『どのような内容で進めていくのが一番理解して貰えるのか』が課題となりました。長年の授業体験から内容はシンプルに、実際に体感して貰うことに重点を置くこととしました。

授業当日、改良と工夫を重ねた実験器具を運び・セットした理科室に、子供たちがひとり、ひとり入ってきます。迎えるインストラクターも話しかけながら迎え、緊張をほぐします。

9人の児童が実験器具を囲み見つめる中、図表を用いながら【家庭の蛇口から出る水が、浄水場→川→森】へとつながる解説をし、いよいよ実験開始です。

①木の茂るプランター

②土だけのプランター

机上に並べた2つに、じょうろで1リットルずつ全員が水を注ぎました。小さな子供たちは、椅子に乗り・体を支えて貰いながらの作業です。

皆、席に戻り結果を見ますが、②の樹木の無いプランターの上から、たちまち流れ出る土を見て「あっ、土石流だ！」「チョコレート色！」《もしここに人がいたら?》の問いかけに「死んじゃう〜」の叫び声! 一方、①の樹木の茂るプランターの下から出る水を見「なかなか貯まらないなあ、、、」「きれいな色〜」「リンゴジュースだ!」と皆、自分の感じたままを素直に表現し、自由な感覚あふれる教室となりました。(注:リンゴジュース→わずかに黄土色がかかった水の色を) (感性が人一倍強い子供達でこのような表現となりました)

注いだ水の量と結果を計り、どのように地中に水が蓄えられ、浄化されるか《緑のダム》の効果を理解した後、「土

の上に、葉っぱがたくさんあったらどうなるかな？」との問いかけには「腐葉土になる！」の返答がありまさか、この学年で「腐葉土」という言葉が出てくるとは、と予想外の展開に慌てて新たな図表を出し【どんな生き物が土の分解に関わっているのか】の説明となりました。

さらに、担当教諭からの「ダンゴムシを飼っていた時、桜の葉っぱを食べた虫のフンからは桜の香りがしたよね」という解説に「したしたっ！」「食べてた！」と声があがり、ミズや森の生物が葉や木を食べ、フカフカにして土に還すという学びへとつなげる事も出来ました。9名という、人数からすればごく少ない授業でしたが、1人ひとりの日常体験への新たな発見につながる時間となったと感じます。

担任の先生から「どうしても体験が乏しくなりがちな子供達ですので、このような授業はなにによりでした」とのお言葉をいただき、自分の行動が目に見える結果につながるこの授業は、子供たちの自由な発言・素直な表現を呼ぶのだと感じ、この先、体験型学習として広めて行きたいとの思いを強くした1日でした。

最後に、ドングリブローチのプレゼントがあり、「大きいっ！」「ツヤツヤ」と小さな指で撫でた後、挨拶役を担った少年の、責任を果たそうとする元気なかけ声にて終了となりました。

(記 石垣 桃栄 ⑮)

かながわしずくちゃん Facebook は下記URLで見ることができます。
 かながわの水環境の
 保全・再生をめざして
<https://www.facebook.com/kanagawa.sizuku>

◆ キリンビール株式会社

間伐及び自然観察活動

日 H30年11月17日(土)10:00~13:00、晴れ

場 足柄上郡松田町 やどりき水源林

参 社員及びその家族、計60名

県 新谷様

イ L西出⑫、小野⑦、有坂⑧、松山⑩、木村⑭、
 内野⑨、赤崎⑫、西岡⑭、河西⑮

心配された天気でしたが、青空が広がる絶好の活動日和となり、皆さん、見頃の紅葉を楽しみながら楽しいひと時を過ごされました。

開会式の後、間伐5班、自然観察4班に分かれて、活動に入りました。間伐は、スギとヒノキの混交林で、伐倒木は胸高直径20cm前後、樹高15m程です。何度も参加されている方もおられて、伐倒、枝払い、玉切りと作業は順

調に進みました。今回は、時間の都合で、各班1本の間伐でしたが、少し明るさを増した森を眺めて、成果を確かめておられました。



自然観察は、ご家族連れだけでなく、大人の方もたくさん参加され、めいめいに学び、楽しめました。お子さんは、水源林の植物や、生き物を探して林道コースを歩きました。大人の方には、少し本格的に森林整備の大切さや、生物多様性についてBコースを歩きながら解説いたしました。最後には滝郷の滝を見学し、秋の水源林を満喫しておられました。

間伐班、自然観察班とも、活動を終えられた方から、間伐材でコースターを作って頂き、ヒノキのいい香りをお土産に帰路につかれました。

(記 西出 健一 ⑫、赤崎 さほり ⑫)

◆ 県立21世紀の森

未病対策プログラム「ジオパークの矢倉岳に登ろう！」

日 H30年11月17日(土) 8:00~15:30、晴れ

場 県立21世紀の森～矢倉岳(標高870M)

参 6名(男性3名:女性3名(内小学生1名))

スタッフ 県立21世紀の森 辰己様、平井様

イ L上宮田⑩、白畑⑦

21世紀の森園内から箱根ジオパークの認定場所である「矢倉岳」山頂を目指す 歩行距離10キロの未病対策プログラムです。

8時集合の後・スタッフ打合せ・受付・挨拶後本日のテーマである「未病」について、21世紀の森の平井さんよりご説明いただきました。登山中の安全目標を共有し集合写真を撮り 軽い体操後 出発です。

歩き初めてすぐに参加者の目にとまった「木の実」落ちていた皮付きの実を水入りのペットボトルに入れお子様にシェイク頂きますと 泡・泡・泡！その実の正体「無患子」の効能についてご案内。本日のこの導入で参加者の一体感は生まれたようです。

掘り返された土はいったい誰の仕業？ 何のため？ ミミ

ズや蜘蛛やダニの役割、土ができるまでの年数は？今日降った雨が森に浸透し水道水に届くまでは？など森に邪魔にならない声でおしゃべりをしながら進みます。

広葉樹林帯では葉の彩と落ち葉・ドングリの種類や役割について触れアブラチャン・クロモジ・山椒などの香りも体験いただきました。

杉・檜林の上り坂では人と自然との共生に触れながらゆっくり進みます。陽だまりではリュウノギク・りんどう・スマレの開花も楽しみ矢倉岳山頂からは絶景の富士の姿に歓声があがります。

長丁場の下山時、疲労感が心配されるころには葛ツルのシャボン玉遊びを提供すると疲れもどこかへ！

小学2年生のこどもちゃんを囲みながら皆が笑顔に包まれた一日でした。未病は病気になってからの対処ではなく普段の生活において「心身を整え、健康な状態に近づける」ことアンケート結果からもその効果はあったと確認できました。

(記 上宮田 幸恵 ⑪)

◆ 鎌倉市公園協会

平成30年度 緑のレンジャーシニア 第9回

日 H30年11月17日(土)10:00～14:00、晴れ

場 鎌倉中央公園 子供の森

参 10名(男7名、女3名)

スタッフ 鎌倉市公園協会 千田様、後藤様

イ L安部⑤、小沢⑨

今回の第9回で山地での実習は最後となりました。公園管理作業員としてどのような事を1回～8回までに学んだか、結果を自分なりに試す事と学んだ技術を顧みる事が出来る良いチャンスと捉えて、緑のレンジャー・シニアの方々はハツラツと作業に入られました。作業場所は子供の森の名前のごとく同一エリアには沢山の子供達が楽しそうに親子ずれで遊んでいます。

彼らにいかにか安全かつ楽しく遊んでもらうかの為の作業です、枯れ枝の除去、枯木の伐倒作業、増えすぎた木の代採等狭いエリアにしても作業する時間、作業項目が盛り沢山、今後の腕を磨くためにはそれぞれの先輩達と共に楽しく安全に学んで行く事と思います。道具の整備も完ぺきでしょう、昼食を取りながら2階研修室で質問等親睦をはかり残りの講座の講義に向けて緑のレンジャー・シニアとして大きく羽ばたく事を祈り、散会させて頂きました。

(記 小沢 章男 ⑨)

◆ 横浜市立平沼小学校 間伐体験学習

日 H30年11月20日(火)9:45～15:00、曇り

場 相模原市緑区長竹 承継分収林

参 小学5年生85名、教師等9名)

財 古舘様

イ L松山⑩、柏倉④、佐藤⑤、小野⑦、有坂⑧、

齋藤⑧、松本⑪、松永⑪、西出⑫、小松⑬

第2ファイヤー場側の広場にて、松山リーダーによる「はじまりの会」が始まりました。枝払いの際、どうしても接近してしまうため、のこぎりの取り扱いや隣の人に注意することについてお話がありました。



事前学習の際、松山リーダーより「一人ひとつインストラクターへの質問を考えてきてください。」と課題が出されたこともあり、今回は生徒とインストラクターのコミュニケーションが進んだと思われます。「緑のダム」や「木の年輪について」など各班で話し合いの場がもたれました。

午前中にヒノキ一本を伐倒・片付けを済ませ、昼食後はお土産のコースターづくりに着手。体験時間を長めにとっていたこともあり、ひとりひとりのこぎりの使い方が上手になりました。

ヒノキの伐倒後、明るくなった林内を見て「わぁ！」と歓声を上げ、「斜め切りが難しかった。」とか「チームワークの大切さや素晴らしさを学びました。」などの感想が聞かれました。

予定通り14時前に作業が終了し、愛川ふれあいの村にて「おわりの会」が開催され、この後入村式に向かわれました。

(記 齋藤 彰秀 ⑧)



丹沢の自然再生に取り組む 丹沢大山自然再生委員会のホームページをご覧ください。 <http://www.tanzawasaisei.jp/>

◆ 県立21世紀の森

自然観察会⑥「秋の山野草観察・紅葉狩り」

日 H30年11月23日(金)10:00~15:00、晴れ

場 南足柄市内山 県立21世紀の森

参 18名(大人男3名女8名 子供男4名女3名)

スタッフ 21世紀の森 平井様

イ L 杉崎⑩

森林館で挨拶やメンバーの紹介、スケジュール等の打合せ後、森林館・木材工芸センター周辺→内山林道(散策路含む)周辺→天然の森コース下部→金太郎林間広場(昼食)→(連絡路)カシの森→ふれあいセンター→森林館の行程で、おりおり触れる動(食痕・糞)植物(木や草の実や落葉)を時間をかけ、五感で味わう。

当園での自然観察会は春の桜観賞に次いで秋の紅葉狩りです。



今年の紅葉便りは遅く、こもやとと工芸センター周辺の早めのカエデが見ごろを迎えたところでした。朝のやわ陽に薄紅を透け染めたイロハカエデの葉の重なりやその色合いに、一同感動で言葉なし。

観察を愉しみながら各人が袋を持ち、目についた色や形の違う木の葉を拾い集めて木のテーブル上に並べ落葉のグラデーションを愉oshimしました。

参加者は小学1年生から明日は傘寿の人まで年齢巾が広く、対応に私のブレーンは秋の嵐でしたが充実した楽しい観察会でした。

((記 杉崎 恒三 ⑩))

◆ 日揮株式会社

森林癒やし体験とクリスマスリース作り

日 H30年11月23日(金)10:00~15:00、晴れ

場 やどりき水源林

参 9名

イ L 若林⑦、時田⑩

いい天気の中での開催となりました。午前中の森林安息(樹幹の揺らぎ)、呼吸法、草木のかおりをたのしみ、日

常のせわしないリズムから自然のゆったりとした時間のリズムに切り替え全身で森を感じられる体験ができました。午後からのクリスマスリース作りは和気あいあい、皆さん試行錯誤しながら自分だけのリースを作成されました。出来上がりは皆さん素晴らしいものができクリスマスを盛り上げてくれること間違いなしの出来栄でした。午前中から午後にかけて時間とともに変わっていく日差しよって紅葉した木々の色を感じながら、参加者様に準備していただいた野点のお抹茶をいただき、ゆったりとした森での贅沢な時間をすごせることができインストラクターともども森を満喫した一日となりました。

(記 若林 良子 ⑦)



かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。
全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

◆ 神奈川トヨタ自動車株式会社

第38回トヨタプリウス森木会

日 H30年11月23日(金・祝)、晴れ

11月24日(土)、晴れ

場 午前;やどりき水源林

午後;ミロクキャンプ場

参 23日;56名(うち子供20名)、

24日55名(うち子供20名)

スタッフ 神奈川トヨタ 黒澤部長、佐藤様、他スタッフ8名

看 椎名様

イ 23日 L⑩福島、⑤森本、⑧斎藤、⑩上田、

⑩吉田、⑩真貝、⑫安井、⑬真部、⑮相澤

24日 L⑩福島、①井出、⑤森本、⑧草野、⑩上田、

⑩真貝、⑫安井、⑬真部、⑭藤井

恒例の神奈川トヨタ自動車(株)森木会様の森林活動が二日間にかけて実施されました。

イベント成功の可否はお天気次第ですが、雨バージョンプログラムの用意を含めて準備等万全の支度をして、プリウス・オーナー様をお待ちしました。

* 第一日目(23日)

(午前)

交通渋滞の影響で参加者全体の集まりが遅れ、オリエンテーションなしに活動開始。6班編成が5班になる。

各班独自に体操を行い用具をそろえ、半分の人数をトヨタプリウスフィールド及び他の半数を林道散策へ。

フィールドでは午後の焼き芋用の杉の枯れ枝などを集め、袋に入れて林道整備。

林道散策班は自然観察しながらアスナロ・ヒノキの葉を取り、抽出場所に集積。

この作業を後半入れ替え、同じ作業を全員行う。
(午後)

参加者の昼食後は午後の活動場所であるミロクキャンプ場に移動しお待兼の焼き芋・ピザ作りに備えた。天気も良く、火起こしされている半割ドラム缶に、さつま芋を新聞紙に包んでボールの水に浸け、更にアルミホイールに包んでから、ドラム缶の焚火の中に置いて焼きあがるのを待つことに。その間にピザ焼きストーブでピザ下地にトッピングをして窯入れで約10分。アツアツのピザの出来上がり、その合間を縫い班ごとに「水は森からやってくる」のパンフを使用し水源林涵養の話をする。

温かい焼き芋とピザを頬張ることができ、寒空のなか「幸せ」を感じながら、解散となった。

* 第二日目(24日)

(午前)

今日は朝から交通渋滞もなく快晴に恵まれ絶好の活動日和になった。定刻より活動開始となり、半数はプリウスの森で清掃作業とともに杉枝集め、清掃活動。他の半数は自然観察しながらアスナロ・ヒノキの葉を取り、抽出場所に集積。この作業を後半入れ替え、同じ作業を全員行う。

(午後)

前日と同じ内容で活動したのでスタッフも要領もよくなり、内容も濃くスケジュールが行われた。

焼き芋・ピザ・水源林涵養の話と順調に進んで定刻通り終了することが出来た。

(記 福島 正治 ⑪)

<訂正のお願い>

2019.1月号 活動短信の8p 県民参加の森林づくりの投稿者名が間違っていました。

誤) 水津 敏 ⑨ ⇒ 正) 鈴木(淳) ⑭ です。

訂正をお願い致します。

森のめぐみの掲載は、
今月号はありません。
次掲載は4月号です。

森のめぐみ シリーズ

国際森林デー2019が開催されます。

国際森林デー2019 で 検索 または
林野庁の

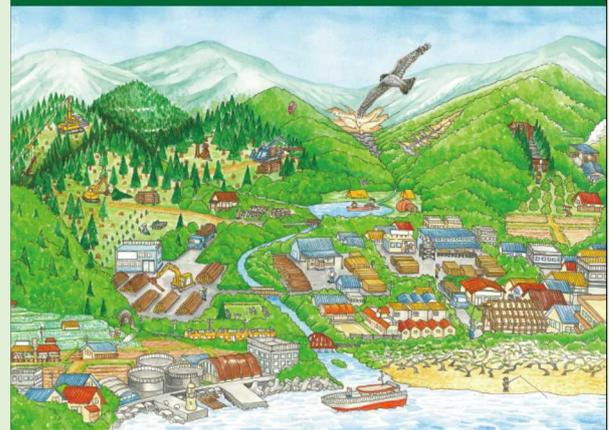
http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/sanson_ryokka/190201.html

東京都の

<http://www.oisca.org/news/?p=11753>

国際森林デー 2019 みどりの地球を未来へ ～次代へつなぐ森林と木の文化～

3月23日(土) 木材・合板博物館
13時～16時40分 12時半受付開始・開場
東京都江東区新木場1-7-22 新木場タワー
(新木場駅から徒歩7分)



1 概要

平成24年(2012年)12月に開催された国連総会において、森林や樹木に対する意識を高める記念日として、毎年3月21日を「国際森林デー」とすることが決議されました。

これを記念して、国内においても毎年イベントを行っており、今年は平成31年3月23日(土曜日)に「国際森林デー2019 みどりの地球を未来へ ～次代へつなぐ森林と木の文化～」を木材・合板博物館(東京都江東区)で開催します。

当日は、各国の駐日大使館・国際機関の職員やその家族、留学生を招待し、お楽しみコンサート、交流会(木の小皿やバターナイフを作る木工教室等)を行うほか、文化庁長官と林野庁長官の対談を実施します。

このイベントの一般参加者(4歳以上)を募集しますので、下記により御応募ください。

本イベントを通じて、人種、民族、国籍を超えて交流を深め、樹木に親しむ機会をともにすることで、森林を尊ぶ心を世界に広げます。

2.開催日時及び場所

日時:3月23日(土曜日)13時00分～16時40分

会場:木材・合板博物館(東京都江東区新木場 新木場タワー)

3.主な内容

13時00分～13時10分 オープニングセレモニー

13時10分～13時50分 対談

14時00分～14時20分 お楽しみコンサート

14時40分～16時40分 交流会

4.募集予定人数 200名

5.申込要領等は

ホームページを参照 (この表のトップに記載してあります)

(1)申込方法 (2)申込締切

(3)申込みに関するお問合せ先

公益財団法人森林文化協会内国際森林デー2019 中央行事实行委員会事務局

TEL:03-5540-7686(平日10時00分～17時00分)

やどりき水源林ミニガイド

2月のトピックス

山中では動物が一生懸命に活動していました



(木の实を啜えている カケス)
(鳥海氏 ⑭ 撮影)

3月の水源林

春です。日陰には残雪が残っているかもしれません。草花の芽吹きも始まります。ミツマタも咲きます。

「森の案内人」情報

3月1日(土)より活動が始まります。
“いらっしやい!!”

- 実施時間:毎週土曜・日曜・AM10時・PM1時, 1~2時間程度
- 集 合:水源林入口ゲート前
- 内 容:森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。参加自由、参加費無料
- *10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。
- 問合せ:(公財)かながわトラス みたどり財団 TEL:045-412-2255 FAX:045-412-2300
- ホームページ: <http://www.ktm.or.jp>
<http://ktm.or.jp/contents/event/127/yadorikil27.html>
- E-mail: midori@ktm.or.jp
- やどりき水源林までの道順
小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約25分。
バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩35~40分。
寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

やまきた桜まつり

約130本の桜が植えられているJR御殿場線沿いの桜並木。桜が花を咲かせる頃、山北鉄道公園周辺を舞台にやまきた桜まつりが開催されます。



期間:3/16(土)~4/14(日)
問合せ先等:やまきた桜まつり実行委員会(山北町役場商工観光課内)
電話:0465-75-3646
FAX:0465-75-3661
<http://www.yamakita.net/event/78>

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員読者の皆様から広く募集しています。
<広報全般についてのお問い合わせ>
松本 保
Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp
Tel: 090-7962-3168
<電子配信担当> 笠原かずみ
Mail: happy_kumakuma711@icloud.com
Tel: 090-4137-9265
<メール・手書き原稿送り先>
【本誌】松本 保
〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸3-46-17
Fax: 045-301-9401
電話連絡先: 090-7962-3168
Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp
【別冊】黒川 敏史
〒247-0066 鎌倉市山崎2273-1-515
Tel: 080-5477-2206
Mail: kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp
【別冊はCCを】福島 正治(事務局長)
〒214-0006 川崎市多摩区菅仙谷3-1-1-204
Tel/Fax: 044-944-9423
Mail: fukky52000@yahoo.co.jp
原稿は随時受付けています。

森のなかまは過去号もご覧になれます。
(ホームページ) <http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>
(HP担当:井出恒夫)

編集後記

★ケーキ屋さんの、沢山の苺を使ったケーキが並んでいるのを見てみると、晴れやかな春の訪れを感じます。
(笠原)

★2月のやどりき森の案内人募集に引き続き、今月は、ネットワーク活動の募集が始まりました。「森のなかま 別冊」をよく読んで、新年度活動への積極的な参加をお願いします。
(黒川)

★こんなピザ窯を作ってみました。庭のできるおいしいピザ焼き！子供達に結構人気でした。



(阿藤)

★いよいよ平成の時代が終わり、新しい年号が始まる。小生も昭和、平成そして新年号と3代に。感深いものがあります。
(吉田)

★水泳女子の池江さんが白血病になりました。私達の仲間の徳岡さん⑩も6~7年前になりますが、骨髄移植で見事克服されました。徳岡さん！！池江さんにパワーを送って下さい。
(松本)

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。
郵便振替口座 00230-0-2454
かながわ森林インストラクターの会宛まで2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

編集人:松本 保
事務局:福島正治
広報部: 藺田栄哉 吉田郁夫
黒川敏史 笠原かずみ
加藤優美 阿藤壽孝、竹内明彦
支援:伊藤恭造 大原正志 江頭淑子

第21回 まつだ桜まつり

開催地:神奈川県松田町西平畑公園 (松田山ハーブガーデン)
開催期間:2月9日~3月10日 09:00~17:00 5分咲き頃からライトアップ開始
ライトアップ時は21:00まで開園
問合せ:松田町役場観光協会 電話番号:0465-85-3130
関連サイト: http://letsgo-matsuda.com/?page_id=3254 (外部サイト)

